

2021年3月期

第3四半期決算補足資料

株式会社イントランス（3237）

東証マザーズ市場上場
証券コード 3237



(目次)

- 1** 2021年3月期 第3四半期決算概要
- 2** 3月10日開示内容の説明
- 3** 今後の事業展開 ～ コロナ後を見据えて～

1 ① 2021年3月期第3四半期業績 (2020/4~2020/12)

保有する販売用不動産の売却活動を積極的に行い6物件を売却。

(単位：百万円)

	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	対前年同四半期 増減額	対前年増減率
売上高	455	1,051	595	130.6%
営業利益	△546	△451	95	—
経常利益	△582	△632	△49	—
当期純利益	△584	△634	△50	—

1 ② 2021年3月期第3四半期 要約損益計算書 (2020/4~2020/12)

(単位：百万円)

	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	前年同期 増減額
売上高	455	1,051	595
プリンシパルインベストメント事業	0	617	617
ソリューション事業	304	296	△ 8
その他事業	151	138	△ 12
売上原価	354	958	603
プリンシパルインベストメント事業	99	723	624
ソリューション事業	185	184	0
その他事業	70	50	△ 19
売上総利益	101	93	△ 8
販管費	648	544	△ 104
営業利益	△ 546	△ 451	95
経常利益	△ 582	△ 632	△ 49
四半期純利益	△ 584	△ 634	△ 50

販売用不動産 6 物件を売却

【大多喜ハーブガーデン】 外食卸売が苦戦も、小売向けが伸長し、卸売事業は前年並。SNS等の広告戦略が奏功し、来園者数が増加

1Qに84百万円、2Qに41百万円の評価損（売却損）を計上

主に前期計上の横丁関連費用69百万円及び貸倒引当金49百万円が減少要因

売買契約の解約に係る費用168百万円を営業外費用に計上

1 ③ 2021年3月期第3四半期 要約貸借対照表 (2020/12)

(単位：百万円)

	2020年 3月末	2020年3月期 12月末	増減
【資産合計】	4,027	3,180	△ 847
(流動資産)	3,999	3,125	△ 873
現金及び預金	819	911	91
販売用不動産	2,615	1,883	△ 731
その他	564	331	△ 233
(固定資産)	28	55	26
有形固定資産	5	5	0
無形固定資産	0	27	26
投資その他の資産	22	22	0
負債合計	2,017	1,792	△ 225
(流動負債)	806	1,442	636
短期借入金	274	0	△ 274
1年内返済予定長期借入金	215	1,098	883
その他	316	344	27
(固定負債)	1,211	350	△ 861
長期借入金	1,203	342	△ 861
その他	7	7	0
純資産合計	2,010	1,388	△ 622
自己資本比率 (%)	49.6	42.9	—

販売用不動産 6 物件を売却

法人税の還付137百万円及び売買契約の解約による手付金の費用化77百万円

予約送客システムのソフトウェア構築費用

長期借入金から一年内返済長期借入金への振替

2 ① 和歌山マリーナシティ（信託受益権）売買契約の締結

2016年8月に取得した和歌山マリーナシティ内3施設（信託受益権）の売買契約を締結

売買契約締結日	2021年3月10日
決済・引渡日	2021年4月30日（予定）

（売却する信託受益権の概要）



施設名称	和歌山マリーナシティホテル
所在地	和歌山県和歌山市毛見字馬瀬1517番地1

施設名称	紀州黒潮温泉
所在地	和歌山県和歌山市毛見字馬瀬1525番地

施設名称	ソルカサ・デル・マール（1階部分）
所在地	和歌山県和歌山市毛見字馬瀬1517番地2

2 ② 2021年3月期 通期連結業績予想の修正

2021年3月期通期連結業績予想を修正

(単位：百万円)

	当初予想	修正予想 (2021/3/10発表)	増減額	(ご参考) 2020年3月期
売上高	3,500	1,210	△2,290	1,174
営業利益	400	△540	△940	△931
経常利益	150	△730	△880	△973
当期純利益	120	△733	△853	△1,013

(売上高・利益)

- ・ 3月10日締結の信託受益権の売買契約において、売上計上が来期にずれ込み（修正幅のおよそ8割程度）
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響による計画を下回る金額での交渉
- ・ 新型コロナウイルス感染症 第二波の感染拡大及び緊急事態宣言の発出による営業活動への影響

2 ③ 株主優待制度の中止

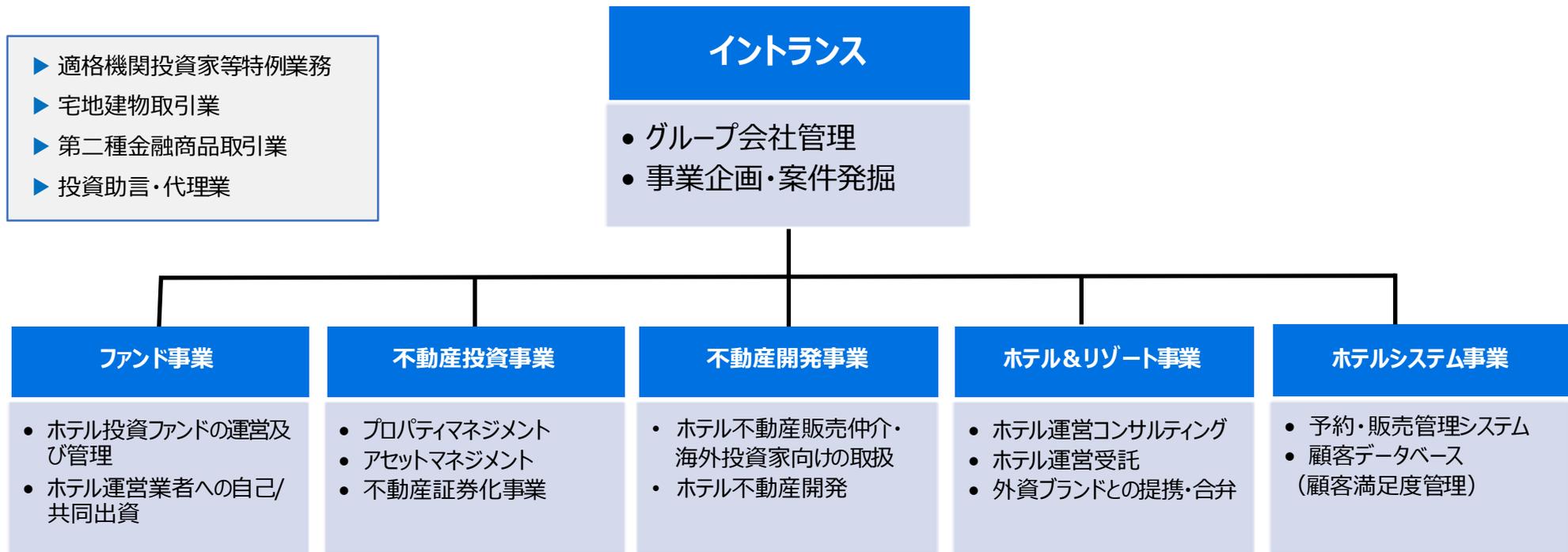
業績修正を受け、株主優待制度を中止

- ・ 通期で大幅な当期純損失の見込み
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響の不透明さ
- ・ 経営基盤と財務体質の強化による株主様の長期的な利益確保

基準日	株主優待
2021年3月末日	中止

※ 2022年3月期以降の株主優待は、現時点で未定

コロナ後を見据え、5つの事業領域を積極推進



3 ② 参考

2021年3月期

2020.10 名古屋支社の閉鎖

2020.11 ファンド事業に進出

2020.12 投資助言・代理業 登録

2021.02 関西支社の設置